

議題（１）路線バス社会実験路線の２次評価結果について

1. 社会実験路線 2次評価結果（4月～12月までの収支率）

路線名	収支率	2次評価結果および今後の対応
如意谷線	110%	パターン1 ⇒令和7年4月から本格運行(阪急バス自社路線)へ移行
箕面山麓線	115%	パターン1 ⇒令和7年4月から本格運行(阪急バス自社路線)へ移行
小野原東線 (箕面船場阪大前駅経由)	85% (1次評価時点:83%)	パターン3または4 ⇒令和7年4月から適正化を見据えた社会実験運行
箕面小野原線	62% (1次評価時点:60%)	パターン6 ⇒令和7年4月～9月:適正化に向けた経過措置運行(※) (※:適正化の検討内容によっては経過措置運行を延長) ⇒経過措置運行終了後、見直し内容で運行開始
箕面中央線 (新稲系統)	63% (1次評価時点:65%)	パターン6 ⇒令和7年4月～9月:適正化に向けた経過措置運行(※) (※:適正化の検討内容によっては経過措置運行を延長) ⇒経過措置運行終了後、見直し内容で運行開始

2. 各路線の利用状況の分析について

路線名	平日 利用状況	土日祝 利用状況	その他の分析
如意谷線 【全長距離:4.4km】	○	△	収支率100%以上のため、 現行内容で本格運行
箕面山麓線 【全長距離:14.0km】	○	○	収支率100%以上のため、 現行内容で本格運行
小野原東線 (箕面船場阪大前駅経由) 【全長距離:10.2km】	△	×	逆輸送便(※1)の利用者が少ない (※1)朝:千里中央→小野原方面 夕方:小野原方面→千里中央
箕面小野原線 【全長距離:19.3km】	×	×	利用者数について、西部:東部=3:2 となっている(※2) (※2)箕面萱野駅を中心に、 西部・東部区分け
箕面中央線 (新稲系統) 【全長距離:15.0km】	×	×	・朝1便と、夕方1便は利用者が多い →朝(呉羽の里から千里中央):約50人 →夕(千里中央から呉羽の里):約35人 ・昼間は10人/便前後の利用にとどまる

(平日・土日祝の利用状況について)

○:収支率100%以上、△:収支率80%以上100%未満、×:収支率80%未満